

令和2年1月24日(金)  
国土交通省 関東地方整備局  
道 路 部

## 記者発表資料



Michi-No-Eki

### 令和元年度 重点「道の駅」の選定について ～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を平成26年度から実施しています。

令和元年度は、地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を募集し、関東地方整備局管内では、4件の応募がありました。

この度、企画提案内容を確認し、有識者等のご意見を踏まえ、重点「道の駅」及び重点「道の駅」候補を選定しました。

#### <国土交通大臣選定>

##### ○重点「道の駅」2箇所

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

#### <関東地方整備局長選定>

##### ○重点「道の駅」候補 2箇所

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援。

全国で選定された重点「道の駅」、重点「道の駅」候補は以下のHPで公表しています。

<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html> (国土交通省ホームページ)

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 道路部 交通対策課  
課長 下坪 賢一(しもつぼ けんいち) 課長補佐 小田桐 潔(おだぎり きよし)  
電話 048-600-1346 / FAX 048-600-1388

# 関東地方整備局管内 令和元年度重点「道の駅」選定結果



## 重点「道の駅」(国土交通大臣選定)

- ・ 茨城県笠間市      道の駅「(仮称)笠間」
- ・ 千葉県南房総市      南房総市道の駅 (8 駅)

## 重点「道の駅」候補(関東地方整備局長選定)

- ・ 群馬県みなかみ町      道の駅「みなかみ水紀行館」
- ・ 群馬県前橋市      道の駅「(仮称)まえばし」

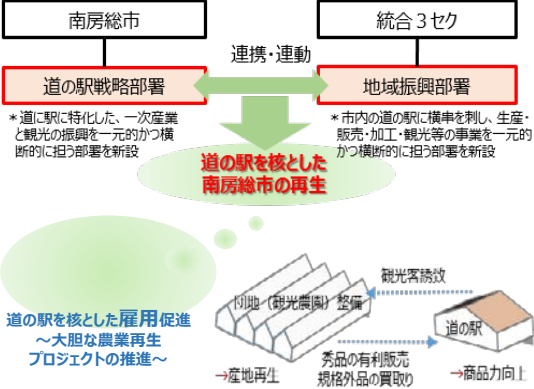




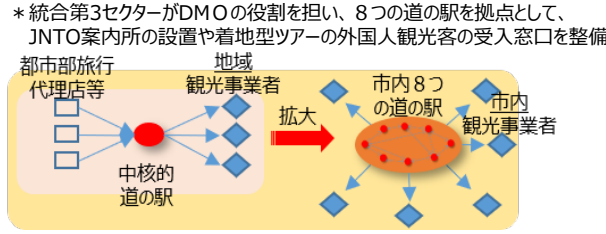
# 南房総市道の駅（千葉県南房総市）企画概要 <既設>

- 次世代型「道の駅」を目指す南房総市の挑戦
- 次世代型道の駅推進体制の確立と新たな「地域ビジネス」と「地域の稼ぐ力」の創出
- 市内8つの道の駅の強靱化×地域創生ビジネスネットワーク×老朽化道の駅のリニューアルによる自律的で持続的な魅力あふれる南房総に

## ①行政と統合3セクによる次世代型道の駅推進体制を確立

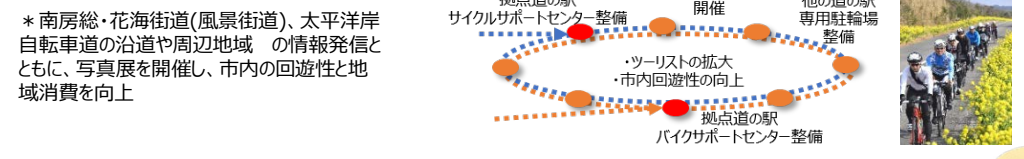


## ③インバウンドを視野に次世代観光拠点を形成！訪日外国人旅行者の地域消費を「道の駅」でつなぐ

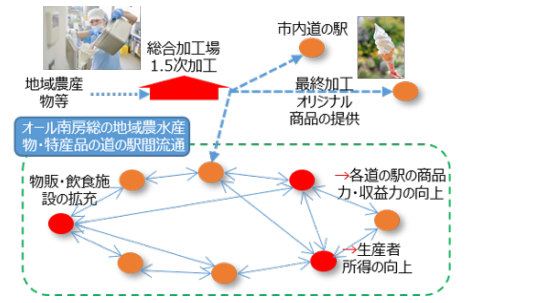


駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
とみうら	千葉県	南房総市	国道127号	既設	平成5年	単独型
三芳村	千葉県	南房総市	県道88号	既設	平成5年	単独型
ローズマリー公園	千葉県	南房総市	県道297号	既設	平成10年	単独型
ちくら・潮風王国	千葉県	南房総市	国道410号	既設	平成14年	一体型
富楽里とみやま	千葉県	南房総市	県道184号	既設	平成14年	一体型
おおつの里	千葉県	南房総市	県道185号	既設	平成15年	単独型
白浜野鳥崎	千葉県	南房総市	国道410号	既設	平成17年	単独型
和田浦WA・O!	千葉県	南房総市	国道128号	既設	平成24年	単独型

## ④サイクル・バイクツーリズムの回遊ルートの確立！風景街道との連携で、市内回遊性と地域消費を向上



## ②「道の駅」を核に一次産業の高付加価値化！地域創生ビジネスの推進と「稼ぐ力」の向上



## ⑤次世代型道の駅へのリニューアル



### <提案の先駆性・ポイント>

- 3つの第3セクターの統合と道の駅戦略部署の創設による、1次産業と観光の振興を一元的かつ横断的に担う次世代型道の駅推進体制の確立と老朽化施設のリニューアルにより、次世代型道の駅に進化させ、地域ビジネスと地域の「稼ぐ力」を創出する。
- DMO機能の拡大によるインバウンド対応と回遊性の向上

### <実施内容>

- 第3セクター統合に向けた検討と準備、道の駅戦略部署の設置
- 総合加工場の整備(特産品とミルクを活用した加工品の製造)
- インバウンド観光の促進(JNTO案内所、免税店の設置、DMO機能の強化)
- 休憩エリアと直売所エリアの拡充により高速道路との連携を強化(ハイウェイオアシス富楽里×富楽里とみやま)
- 子育て応援機能の創設(24時間利用可能なベビーコーナーの設置)と防災ネットワーク化
- 老朽化施設の大規模改修

# 道の駅「みなかみ水紀行館」(群馬県みなかみ町) 企画概要 <既設>

- ユネスコエコパークに認定されたみなかみの豊かな自然を生かし、水上地区観光の拠点施設としての魅力の向上
- インバウンド観光の推進により、近年増加するインバウンドニーズに応えるサービス提供の強化を実施
- かわまちづくり協議会や谷川岳ゆけむり街道ルート委員会との連携による、民間事業者・DMOを中心とした、官民連携による地域活性化拠点施設としての魅力向上



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
みなかみ水紀行館	群馬県	みなかみ町	国道291号 町道温泉街通り線	既設	1996年	単独型

## みなかみ町の現状・課題

- ・観光客数は横ばいであるが、観光消費額は減少傾向にある。

## みなかみ町の将来像

- ・道の駅が集客施設および情報発信施設としての役割を担うことで、観光客が分野を超え「みなかみ町」を満喫することによって観光消費額を増加させる。
- ・官民連携により地元の活性化を目指す。

## 道の駅みなかみ水紀行館再整備イメージ図

水上地区の玄関口である道の駅を利用した集客・情報発信が不可欠である!



## <提案の先駆性・ポイント>

- 2017年6月、みなかみユネスコエコパークとして登録され、自然を生かした観光拠点として道の駅の活用を検討している。
- 2019年3月、道の駅・水上温泉街を含むエリアが「みなかみ町かわまちづくり計画」として認定され、かわまちづくり協議会を設置し地域活性化の検討を実施している。
- 河川空間と道の駅を一体的に整備し、都市・地域再生等利用区域を利用した官民連携や、観光産業事業者と情報発信の連携を強化する。

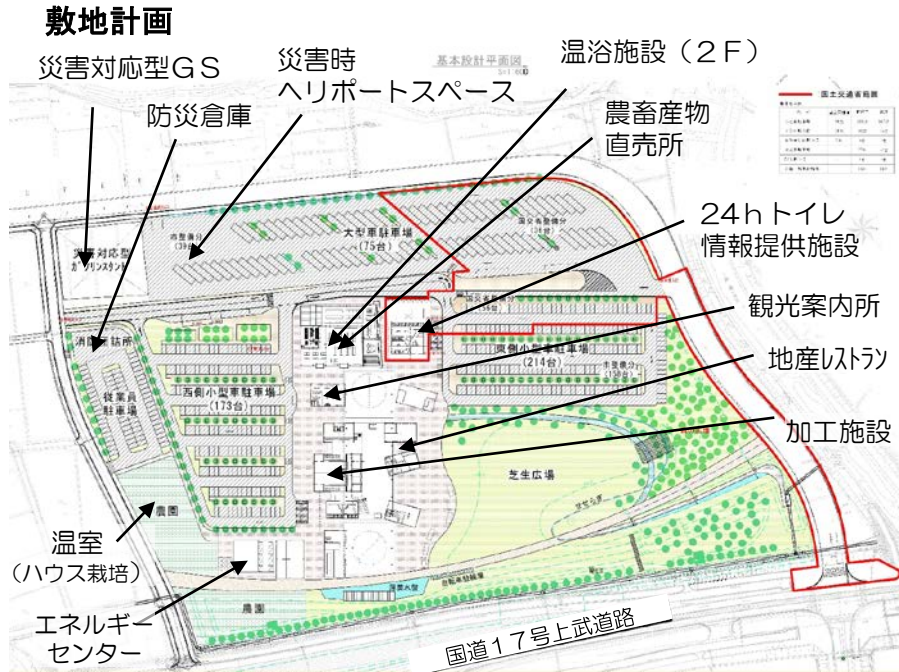
## <実施内容>

- 水上ICから立ち寄り易い、優先駐車スペースを含む駐車場整備
- インバウンド対応の看板類の設置
- 地元の素材を生かしたカフェの新設
- 子育て世代向けの交流の場である公園整備
- 利根川上流部の自然を感じる事が出来る遊歩道の整備
- かわまちづくり協議会や谷川岳ゆけむり街道ルート委員会と連携し官民連携したイベント開催による集客

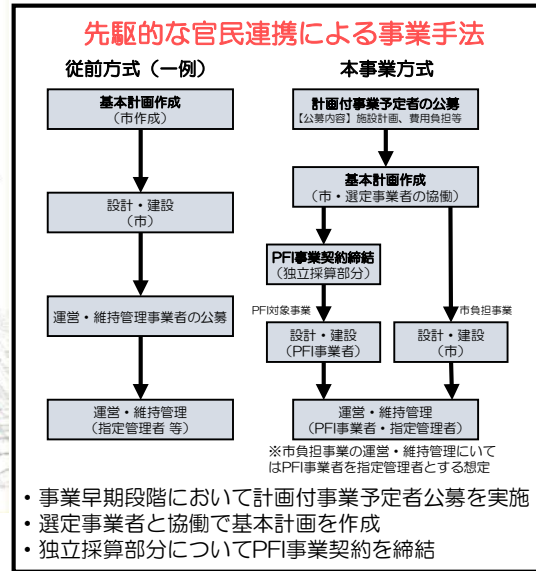


# 道の駅「(仮称)まえばし」(群馬県前橋市) 企画概要 <新設>

○先駆的な官民連携による整備・運営・維持管理手法を用いた次世代型観光拠点としての「道の駅」



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)まえばし	群馬県	前橋市	国道17号上武道路	新設	令和3年度	一体型



**次世代型観光拠点**

- DMOによるインバウンド対応観光案内
- e-Bikeを用いたガイド付きツアーの実施
- 地域資源を活かした各種体験プログラムの実施

## <提案の先駆性・ポイント>

- 計画段階から民間と連携するとともにPFI手法を取り入れた全国的に類を見ない整備・運営維持管理の実施
- DMOが主体なって地域資源を発信するインバウンド対応の次世代観光拠点の形成
- 災害時における活用(緊急避難場所、防災物流拠点、受援受入拠点)を想定したエネルギーの確保

## <実施内容>

- 民間事業者のノウハウや事業提案を効果的に活用するため事業早期段階において施設内容や事業費負担等の提案を求める計画付事業予定者公募を実施し選定事業者と基本計画を作成。各施設の設計・建設、運営・維持管理について民間の独立採算となる範囲をPFI事業とし事業契約を締結。
- DMOが運営するインバウンド対応型(JNTOカテゴリーⅡ)観光案内所の整備、およびDMOによるAKAGI e-Bike Community Cycle事業(e-Bikeを用いて本市観光資源等をめぐるガイド付きツアーとレンタサイクル)、自然体験事業(赤城山をフィールドとした秘密の絶景ツアー、スノーシュー、ワカサギ釣り等の体験ツアー)の実施と都市観光を含めた地域資源の情報発信。
- 災害時対応として中圧管供給による都市ガスを用いた発電設備(エネルギーセンター)、災害対応型ガソリンスタンドを整備。その他、豚肉をはじめとする豊かな農畜産物をPRするための直売所、地産レストラン、加工施設等を整備。

# <参考>令和元年度重点「道の駅」公募概要

## 公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

## 公募期間と選定の流れ

- 令和元年8月8日(木)～11月8日(金)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定  
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、  
重点「道の駅」候補は全国で15箇所を選定

## 支援内容

### <ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

### <ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

## 選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
  - ・次世代観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
  - ・風景街道・道守との連携
  - ・高速道路との連携
  - ・子育て応援
- 完成年が古い駅のリニューアル

## その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後も毎年、公募を実施することを予定